



国緑 3 1 第 3 5 号

平成 3 1 年 4 月 1 日

大阪府知事 殿

公益社団法人国土緑化推進
理事長 佐々木



平成 3 1 年度全日本学校関係緑化コンクールの実施
について

当機構の運営につきましては、平素特段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度も国土緑化運動の一環として、青少年の緑化活動及び学校における緑化教育の一層の推進を図るため、全日本学校関係緑化コンクールを別紙実施要領により実施いたします。

つきましては、御多用のところ恐縮に存じますが、参加校を募集の上、優秀校を御推薦いただき、その調書を 9 月末日までに提出いただきますよう、特段のご協力をお願い申し上げます。

なお、このことにつきましては、貴都道府県教育長及び緑化推進委員会に対してもご協力をお願いしておりますので申し添えます。

担当：政策業務部長 栗林

TEL：03-3262-8457

FAX：03-3264-3974

E-mail：kuribayashi@green.or.jp

全日本学校関係緑化コンクール実施要領

公益社団法人国土緑化推進機構
(一部改正) 国緑31第68号
平成31年3月11日

1 趣 旨

学校を中心とする緑化活動は、次の世代を担う青少年の緑化意識の高揚はもとより、国土緑化運動の推進のためにも、きわめて重要な意義をもつものである。よって、青少年の緑化活動および学校における緑化教育を一層推進するため、学校関係緑化コンクールを実施する。併せて、学校関係緑化の協力者を表彰する。

2 主 催 公益社団法人 国土緑化推進機構

3 後 援 文部科学省 農林水産省 日本放送協会

4 コンクールの種類

- (1) 学校林等活動の部
- (2) 学校環境緑化の部

5 応募資格および条件

(1) 学 校

(ア) 学校林等活動の部

小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、並びに特別支援学校で、広く森林（当該林と学校とのかかわりについては、それが所有権によるものか使用・貸借契約によるものか等のいかなを問わない。以下「学校林等」という。）を計画的、組織的に活用して、児童・生徒の緑化に関する教育、森林体験学習等（高等学校における林学科のみの活動を除く。）に顕著な教育効果がみられる学校（前年度に、本コンクールで特選、準特選を受賞した学校及び全国レベルの緑化に関する表彰等において本コンクールの特選、準特選と同等レベル以上の賞を受賞した学校を除く。）

(イ) 学校環境緑化の部

小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、並びに特別支援学校で、児童・生徒等による計画的、組織的な環境緑化を進め、顕著な実績をあげるとともに、樹木等を活用して児童・生徒の緑化教育の面でも教育効果がみられる学校（前年度に、本コンクールで特選、準特選を受賞した学校及び全国レベルの緑化に関する表彰等において本コンクールの特選、準特選と同等レベル以上の賞を受賞した学校を除く。）

(2) 協力者

学校関係緑化に特に功績のあった団体または個人（原則として公職者を除く。）

6 申込

所定の様式（学校林等活動状況調書（様式1）、学校環境緑化実施状況調書（様式2）、学校関係緑化協力状況調書（様式3））により作成した調書を都道府県知事に提出する。

7 審査および推薦

(1) 都道府県知事の審査および推薦

(ア) 学 校

都道府県知事は、学校林等活動状況調書および学校環境緑化実施状況調書を審査し、学校林等活動の部、学校環境緑化の部のそれぞれについて、小学校、中学校、高等学校

別に（義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校は主たる活動の学校種とする）、原則として優秀校1校を選定し、その調書を国土緑化推進機構に推薦する。この場合、コントロールの種類別に小学校、中学校、高等学校別の参加校一覧を付記する。

(1) 協力者

都道府県知事は、学校関係緑化協力状況調書を審査し、その調書を国土緑化推進機構へ推薦する。

(2) 中央審査会および審査

(ア) 中央審査会の審査員は、国土緑化推進機構理事長が委嘱する。

(イ) 学校林等活動の部

中央審査会は、都道府県知事が推薦した学校について審査し、必要に応じて現地調査を行い、小学校、中学校、高等学校別に、原則として、特選校1点、準特選校2～4点、入選校を若干選定する。

(ウ) 学校環境緑化の部

中央審査会は、都道府県知事が推薦した学校について審査し、必要に応じて現地調査を行い、小学校、中学校、高等学校別に、原則として、特選校1点、準特選校2～4点、入選校を若干選定する。

(エ) 協力者の選定

中央審査会は、都道府県知事が推薦した団体および個人について審査のうえ、優秀なものを選定する。

8 表彰の種類

(1) 学校林等活動の部

小学校、中学校、高等学校別に次の賞を授与するとともに、特選小学校に日本放送協会会長賞をあわせて授与する。

- 特選 農林水産大臣賞
- 準特選 国土緑化推進機構会長賞
- 入選 国土緑化推進機構理事長賞

(2) 学校環境緑化の部

小学校、中学校、高等学校別に次の賞を授与するとともに、特選小学校に日本放送協会会長賞をあわせて授与する。

- 特選 文部科学大臣賞
- 準特選 国土緑化推進機構会長賞
- 入選 国土緑化推進機構理事長賞

(3) 協力者

協力者に次の賞を授与する。

- 協力賞 ノースロップ賞

9 その他

推薦書の提出

- (1) 提出先 (〒102-0093) 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館5階
公益社団法人 国土緑化推進機構
TEL: 03-3262-8457 FAX: 03-3264-3974
Mail: forest@green.or.jp
- (2) 提出期限 9月末日（厳守のこと）
- (3) 表彰 翌春開催予定の全国植樹祭において行う。

平成 年度 学校林等活動状況調書

- 1 学校の名称および所在地（ふりがなをつけ、郵便番号、電話番号を付記すること。）
- 2 学校長の氏名
- 3 学校の現状（5月1日現在）
 - (1) 児童・生徒数（学年別，男女別）
 - (2) 学 級 数（学年別 ）
 - (3) 教 職 員 数（男女別 ）
- 4 地域社会における学校および校区の概要

5 教育的に活用している学校林等の現況

A 学校林の場合（全学校林について）

区 分	面 積 (ha)	樹 種	林 齢	生 育 状 況	学校から の 距 離	所 有 者 名 義	備 考
人 工 林							
天 然 林							
未 立 木 地							
計							

(注) (1) 生育状況は附近の一般造林地と比較して記入すること。

(2) 前年度に植栽，保育を行った場合は備考欄に概要を記入すること。

B その他の森林の場合（活用している全ての森林について）

区 分	面 積 (ha)	樹 種	林 齢	学校から の 距 離	所 有 者 名 義	活 用 形 態	備 考
人 工 林							
天 然 林							
そ の 他							
計							

(注) (1) その他は未立木地等がある場合に記入すること。

(2) 活用形態の欄には，活用している森林が借地であるか，一時使用許可地であるか等の区分を記入すること。

(3) 植栽，保育等を行った場合は備考欄に概要を記入すること。

6 教育活動における学校林等の位置づけ

- (1) 学校林等の経営方針
- (2) 教育活動における学校林等活動の位置づけや目標

教育活動における学校教育目標と学校林等活動の位置づけや学校林等活動の目標，主たるねらい等（次の活動種目と教科・科目との関連を述べても可（簡潔に））について記入すること。

7 学校林等の教育的活用状況

(1) 前年度(4月～3月)の活動状況

年月日	活動種目	教科・科目等	参加者数		備考
			学年	人員	

(注) (1) 活動種目欄は森林体験学習, 林業体験, 植栽, 学校林整備・保全, 動植物の観察, 植物採集, 写生などと記入すること。

(2) 教科・科目等欄は, 各教科等, 総合的な学習の時間, 特別活動などを記入すること。

(2) 上表の活動種目毎の前年度の活動状況・学習内容(目標・様子・成果等)について, 写真を添付するなど具体的に説明すること。

活動種目	活動状況・学習内容

8 活動における地域社会との連携と活動の成果(波及効果)

(1) 当該学校の所在する地域社会(P T A, 学校支援ボランティア等の地域住民, 関係機関等)の協力状況を記入すること

(2) 学校林等活動の成果について, 教職員の感想, 児童生徒の作文・アンケートなどを含めて説明し, 特に地域や他の学校に及ぼした効果があれば, その旨記入すること。

9 その他

(1) 全日本学校関係緑化コンクール参加歴, 表彰歴

(2) その他, 当コンクールに関する表彰歴(都道府県学校関係緑化コンクール, 緑の少年団活動等)

(3) その他特記することがあれば, 記入すること。

(様式1の作成上の注意事項)

1 調書は, すべてA4版, 縦長, 横書き, 上とじとし, 説明は簡潔明瞭に10頁以内にとりまとめて作成すること。また, 原則として, 文字の大きさは様式に揃え, 余白等は既定のままとすること。

2 写真, 図表, 作文等の添付は5頁の範囲内とし, 全体として15頁以内にとりまとめること。調書に写真, 図表, 作文等に挿入して作成する場合も15頁以内にとりまとめること。

平成 年度 学校環境緑化実施状況調書

(学校の状況)

1 学校の状況

(1) 学校の名称

(2) 学校の所在地

郵便番号

住 所 (ふりがな)

電話番号

2 学校長の氏名

3 学校の現状 (5月1日現在)

(1) 児童・生徒数 (学年別, 男女別) / 学 級 数 (学年別)

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	その他	計
男 子								
女 子								
合 計								
学級数								

(2) 教 職 員 数 (男女別)

職 名	校 長	副校長 教 頭	教諭等 ※1	事務職 ※2	その他 ※3			
男 性								
女 性								
合 計								

※1 教諭等欄は、主幹教諭・指導教諭・養護教諭・栄養教諭・講師・実習助手等再任用を含む

※2 事務職欄は、事務長・事務主幹・事務主査・事務主任・事務主事・技術職員等を含む

※3 その他欄は、寄宿舎指導員・支援員・PTA雇用員等を含む

(3) 校地等の面積 (校地全体, グラウンド, 建物別面積)

校地面積 ha / 建物面積 ha

屋外運動場等敷地面積 ha / その他面積 ha

※ 建物面積は校舎・屋内運動場等, 屋外運動場等はグラウンド・プール等を含む。

※ その他は校地面積から建物面積と屋外運動場等敷地を減じた面積とする。

4 地域社会における学校および校区の概要

(学校環境緑化の経過)

5 前年度の学校環境緑化計画と実施状況および教職員研修の概要

(1) 前年度の実施状況

実施項目	実施内容

(2) 前年度の目標、計画、組織、実施状況の概要

(3) 前年度の教職員の研修活動状況および成果

以上について、教育環境整備のために樹木を緑化の中にどのように位置づけ、どのように取り上げているか等を説明のこと。

(学校環境緑化の実施内容)

6 前年度の教育活動における環境緑化活動の実施状況

5 (1)に記載の個々の活動状況（特に樹木を活用したもの）について具体的に記入すること。

(1) 前年度の学校環境緑化活動の状況

年月日	活動種目	教科・科目等	学年	参加人数			備考
				児童生徒	教職員	その他	

(注) (1) 活動種目欄は森林体験学習、植栽、整備保全、動植物の観察、植物採集、写生などと記入すること。

(2) 教科・科目等の欄は、各教科名、総合的な学習の時間、特別活動などと記入すること。

(3) その他の参加人数は、児童生徒・教職員以外（PTA・ボランティア・講師関係者等）を記入すること。

(2) 上記の活動種目毎の活動状況・学習内容について、写真を添付するなど具体的に説明のこと

(ア) 教科等の指導においてどのように取り扱われているか。

(イ) 総合的な学習の時間の指導においてどのように取り扱われているか。

(ウ) 特別活動（学校行事等）において、どのように指導し、児童・生徒はどのような活動をしているか。

7 学校環境緑化の現状および管理の状況

現状や管理の状況がわかるように説明のこと。特に樹木の状況と、草花等と区分して説明のこと。

- (1) 学校環境緑化の見取図（学校敷地すべてを含む全体の見取図とそれを補足する写真，樹木台帳等）
- (2) 緑化施設，設備の状況（ゾーン毎の説明と写真等）
- (3) 緑化施設の管理（管理の方針，維持管理など）状況
※外部業者が実施した場合はその旨記載のこと

8 地域社会との連携

P T A，その他地域との連携および地域社会との交流とその他特記すべき事項を具体的に説明のこと。

- (1) P T Aとの連携
- (2) 地域（学校支援ボランティア等含む）との連携
- (3) 地域社会との交流

9 その他

- (1) 全日本学校関係緑化コンクール参加歴・表彰歴
- (2) その他，当コンクールに関する表彰歴（都道府県学校関係緑化コンクール，緑の少年団活動等）
- (3) その他特記すべき事項

（様式2の作成上の注意事項）

調書は，すべてA4版，縦長，横書き，上とじとし説明は簡潔明瞭に，写真，図表，作文等を含めて15頁以内にとりまとめて作成すること。また，原則として，文字の大きさは様式に揃え，余白等は既定のままとすること。

平成 年度 学校関係緑化協力状況調書

- 1 団体名または氏名（必ず「ふりがな」をつけること。）
- 2 結成年月日または生年月日
- 3 活動目的または職業
- 4 事務所の所在地または住所（郵便番号，電話番号を付記すること。）
- 5 功績の内容
学校関係緑化に特に功績のあった業績について写真等を使い具体的に記載すること。
- 6 その他参考事項
- 7 受賞歴
- 8 記載責任者（役職・氏名）

（様式3の作成上の注意事項）

調書は，すべてA4版，縦長，横書き，上とじとし，写真等を含めて5頁以内にとりまとめて作成すること。また，原則として，文字の大きさは様式に揃え，余白等は既定のままとすること。